

# 子宮頸がんに対するメトホルミンの有効性 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間:2020年 11月2日～ 2023年 3月31日**

**〔研究課題〕** 子宮頸癌に対するメトホルミンの有効性についての後方視的検討

**〔研究目的〕** メトホルミンは、糖尿病だけでなくがんの治療にも効果があることが分かってきており、服用していた方は子宮頸癌のリスクが低下したという報告もあります。各種のがんに対してメトホルミンを投与する臨床試験が進行中ですが、子宮頸癌に関するデータは乏しいのが現状です。JGOG（特定非営利法人・婦人科悪性腫瘍研究機構；Japanese Gynecologic Oncology Group）参加施設において過去に治療を受けた子宮頸癌患者さんを対象として、糖尿病の合併の有無と、糖尿病薬としてのメトホルミン使用の有無を調査することにより、子宮頸癌の治療に及ぼすメトホルミンの影響について検討することを目的としています。

**〔研究意義〕** メトホルミンの投与が子宮頸癌治療に有効であれば、子宮頸癌治療に利用できるようになるかもしれません。

**〔対象・研究方法〕** 研究対象：子宮頸癌 II 期～IVA 期で、2013 年 1 月 1 日—2015 年 12 月 31 日までに放射線療法または化学放射線同時療法を受けた方と、子宮頸癌 IVB 期または再発・残存に対し、2016 年 5 月 23 日～2017 年 12 月 31 日までに、ペバシズマブを含む全身化学療法を受けた方を対象としています。

研究方法：以下のような診療情報を集積し、メトホルミン という糖尿病薬が、子宮頸癌の治療にどう影響しているかを調べます。（診断時の年齢/身長体重/病歴など ・糖尿病合併の有無/メトホルミン使用の有無など ・子宮頸癌の診断日/進行期/病理診断（組織型・リンパ節転移の有無など）など ・子宮頸癌の再発の有無・再発日や再発部位など）

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部産婦人科学講座、特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸がん委員会および JGOG 登録参加施設

## **〔個人情報の取り扱い〕**

情報は、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸がん委員会に送られ厳重に保管されます。本学で得られた本研究の情報は、研究終了後に帝京大学産婦人科学講座と TARC で 10 年間保管した後、個人情報に十分配慮して破棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

**問 い 合 わ せ 先**

研究責任者:長阪一憲

所属: 帝京大学医学部産婦人科学講座

住所: 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)